

CHALLENGE

JAはだの営農経済改革の実践

2018年3月1日～2019年2月28日 実践報告





夢のある農業と次世代へつなぐ 豊かな社会を地域できずく



<目次>

1. 営農指導事業強化に向けた取り組み
 - (1) 営農指導体制の整備
 - (2) 営農サポート・経営相談等の充実
 - (3) 新規就農者等のサポート強化
 - (4) 地域農業の理解醸成と観光農業の振興
2. 販売力強化に向けた取り組み
 - (1) 都市農業の特徴を生かした
多様な販路による販売力強化
 - (2) J A 直売所の一層の充実と地産地消の推進
3. 生産購買事業強化・再構築に向けた取り組み
 - (1) 生産コスト低減対策
 - (2) 担い手に対する柔軟な価格対策
 - (3) 営農指導・T A C 活動との連携
4. 組織運営・経営管理改善に向けた取り組み

J A はだの営農経済改革とは

「地域農業振興計画」の目標達成に向け、取り組みを強化・加速化することを目的に策定した J A はだの営農経済改革は、「営農指導事業の強化」「販売力強化」「生産購買事業強化・再構築」を重点項目として具体策を示しています。

J A はだのは、改革を確実に実践することで、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」をめざします。

Challenge 1

営農指導事業強化に向けた取り組み

(1) 営農指導体制の整備

①TAC活動の強化

- ・ TAC担当者を4名配置

延べ訪問軒数 **3,734軒**



②情報提供の強化

- ・ タブレットを活用した病虫害診断
- ・ 施肥・農薬防除の支援
- ・ 月間グリーンレポートを活用した情報提供



(2) 営農サポート・経営相談等の充実

①電牧器関連資材設置費助成金の取扱い

- ・ 申請件数 **126件**(前年 150件)
- ・ 助成額 **260万円**(前年346万円)



多くの組合員にご利用頂きました。
2019年度も引き続き、**3万円を**
上限に**1/2まで**を助成します。

②農業応援プログラムを活用し購入費用を助成(2018年4月~12月申請分)

- ・ 有害鳥獣対策助成 **11件 37万円**
- ・ 農機取得費用助成 **29件 87万円**
- ・ かながわスマート農業応援 **5件 204万円**



③有害鳥獣対策作物の試験栽培

- ・ エゴマ **102 kg 集荷**
12件45aへ作付け拡大 (前年10件44a)

- ・ 葉ニンニク

販路の確立やマスメディアを活用した商品のPR

6,178束販売

④加工相談会を開催

- ・ 気軽に相談できる相談日を設定 **10回開催**(前年6回)

⑤農業機械利用(リース)事業

- ・ 2018年4月よりチップターのレンタルを開始
講習会修了者 **172人** 利用者数 **42人**

メンテナンス料 **2,000円/日**

貸出期間 **最大2日まで**



(3) 新規就農者等のサポート強化

① 新規就農者をサポート

- ・ 新規就農者や若手農家の要望を受け、農産物や生産資材などを保管できる「農の担い手みんなの倉庫」の貸し出しを開始



JAはだの担い手の確保・育成支援
農の担い手みんなの倉庫

▲ 農の担い手みんなの倉庫

② 「新規就農者を励ますつどい」を開催

- ・ 2018年度新たに就農した新規就農者**2人**を激励

秦野市の農業のさらなる活性化へ、秦野市農業経営士会やJAなどが積極的に新規就農者をサポートしていきます。

③ 「はだの市民農業塾」を開催

- ・ 新規就農コース **3人** 修了
- ・ 基礎セミナーコース **9人** 修了
- ・ 農産加工セミナーコース **15人** 修了



◀ 新規就農者を励ますつどい

④ 「はだの市民農業塾就農者連絡協議会」※への活動支援

※ 農業塾を修了し、市内で新規就農した方で組織する協議会です。

(会員：**42名**)

- ・ 相互の情報交換や技術向上のための研修会 (**5回**)
- ・ 専業農家視察 (**2回**)、会員圃場巡回 (**2回**)
- ・ 会員による落花生共同栽培 (横野地区：**51a**)
- ・ 圃場整備や農機具の導入に対する支援 (新規就農者支援事業)

はだの市民農業塾
新規就農コース ▼



(4) 地域農業の理解醸成と観光農業の振興

① 収穫体験型農業への取り組み

- ・ オーナー制度 **213組 (205組)**
- ・ 収穫体験 **147組 (135組)**

② はだの農業満喫C L U B

- ・ 登録会員数 **644人 (625人)**

③ 農園ハイク収穫体験を支援

- ・ 丹沢秦野農園ハイク **109組 351人**
(**88組 288人**)
- ・ 上地区農園ハイク **91組 241人**
(**42組 106人**)



▲ 落花生農園オーナー

※ () 内は前年同期



さらなる観光資源の活用と受入体制の充実に取り組みます。

Challenge 2

販売力強化に向けた取り組み

(1) 都市農業の特徴を生かした多様な販路による販売力強化



鳥獣害対策作物 エゴマ
→集荷量102kg
えごま油283本を製品化



地場産トマトを利用した
ジュース販売を開始

販売振興作物 ニンジン
「アロマレッド」を出荷
→出荷量 2,762kg



鳥獣害対策作物 葉ニンニク
マスメディアでもPR
→出荷量6,178束



「アロマレッドのニンジン
ポタージュ」を商品化
→500袋を販売



秦野の花をPRし
消費拡大へ



冷凍ゆで落花生「うでピー」
パッケージをリニューアル

キウイフルーツの出荷量拡大



市内のベーカリー、イタリア料理店、洋菓子店が秦野産小麦を使用した商品の開発を行い魅力を発信している。さらに県内のペストリーやベーカリーも秦野産小麦を採用し取扱店舗が続々と増加中 → 60店舗

(2) JA直売所の一層の充実と地産地消の推進

①じばさんず買取販売の展開

- ・生産者買取農産物の販売拡大
2018年度 **935万円(前年168万円)**
- ・道の駅「ふじおやま」への供給量拡大
- ・買取農産物の新規販売先への供給開始
「やさいや金次郎」・「ファーマーズ御殿場」ほか
- ・漬物用「ナス」「ダイコン」の買取の実施
2018年度 **ナス500kg ダイコン1,100kg**

▼道の駅「ふじおやま」



②オリジナル商品の継続販売

- ・はだの丹沢梨サイダー **12,096本**
- ・はだの丹沢苺サイダー **12,144本**
- ・しゅわっと梨飴 **1,250袋**



▲オリジナル商品の販売▶



③はだのふるさと納税の充実

2018年度 **229万円**

④安心・安全への取り組み

- ・生産履歴記帳の徹底・残留農薬検査の定期的実施
- ・直売所オリジナルGAP「J i b a - G A P」の拡充
「食の安全」「労働の安全」「環境の安全」を点検するチェック項目を段階的に拡充し、127項目のチェックシートを配付

⑤店舗の充実と学校給食の拡大

- ・販売レイアウトの一部変更と大型冷蔵ショーケースの導入
- ・小学校や保育園の給食用食材として秦野産農産物を継続供給
新たに保育園1園に供給開始



▲大型冷蔵ショーケースを導入

Challenge 3

生産購買事業強化・再構築に向けた取り組み

(1) 生産コスト低減対策

① J A グリーンはだので定期的な値引きキャンペーンを実施

2018年度の主なキャンペーン

3月4日～13日	除草剤キャンペーン ラウンドアップマックスロード・バスタ液剤・プリグロックス・農薬散布マスクなどの価格を値下げ
4月4日～13日	春の肥料・農薬キャンペーン エコ808・ジシアン特806・ダイアジノン粒剤5・チップソーなどの価格を値下げ
5月8日～17日	ボードンキャンペーン 野菜出荷用ボードン袋・各種テープ類などの価格を値下げ
6月9日～18日	水稲用資材キャンペーン 水稲用農薬・農薬散布マスクなどの価格を値下げ
7月4日～13日	除草剤キャンペーン ラウンドアップマックスロード・バスタ液剤・プリグロックス・農薬散布マスクなどの価格を値下げ
8月4日～13日	除草剤キャンペーン ラウンドアップマックスロード・バスタ液剤・プリグロックス・農薬散布マスクなどの価格を値下げ
9月5日～14日	ボードンキャンペーン 野菜出荷用ボードン袋・各種テープ類などの価格を値下げ
10月5日～14日	秋の肥料・農薬キャンペーン エコ808・ジシアン特806・ダイアジノン粒剤5・チップソーなどの価格を値下げ
11月4日～13日	タマネギ用資材キャンペーン タマネギ栽培用のマルチ・肥料・農薬などの価格を値下げ
12月8日～17日	年末キャンペーン 一部の商品を除き全ての生産資材を3%引きで販売
1月11日～20日	新春キャンペーン 一部の商品を除き全ての生産資材を3%引きで販売
2月2日～11日	ジャガイモ関連資材キャンペーン ジャガイモ栽培に必要な資材・肥料・農薬などの価格を値下げ

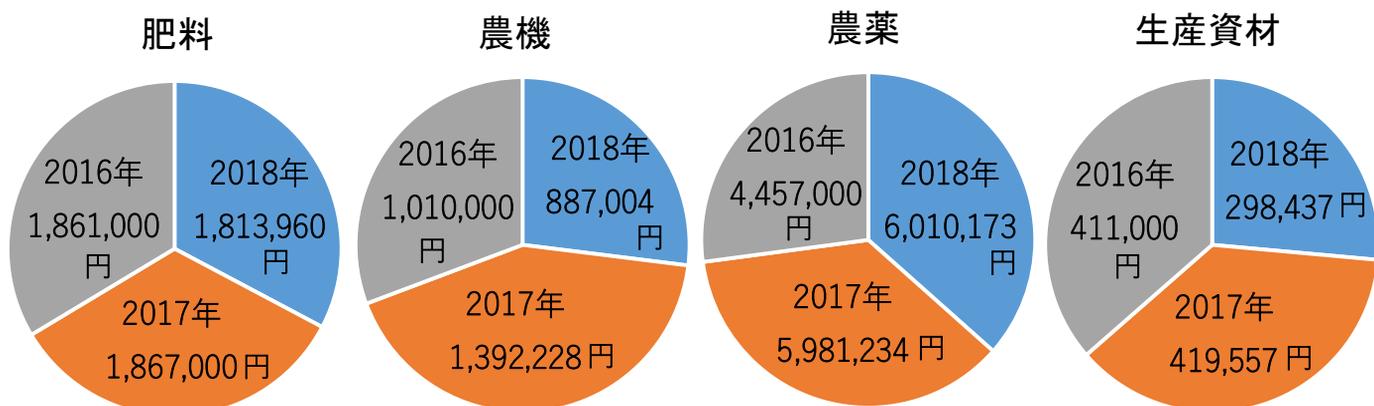


**2019年度もキャンペーンを行います。
お得な価格で提供しますので
JAグリーンへお立ち寄り下さい。**

JAグリーンは農家を応援します！

②2016年度～2018年度の値引額

▼分類別値引き額



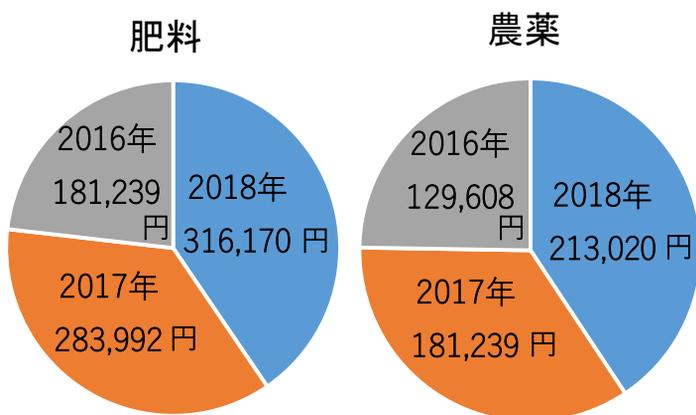
(2) 担い手に対する柔軟な価格対策

①生産組合・業種別部会予約注文の大口値引き基準（さらに3%を値引き）

肥料	(早期引取分)
	・30袋以上注文の方 ・予約期間3か月の合計が60袋以上注文の方
農薬	(取引価格)
	・7万円以上注文の方



▼大口値引き額



(3) 営農指導・TAC活動との連携

①TAC活動と連携した情報提供

- ・貸出担当者との同行訪問による農業資金ニーズの掘り起こし

農業資金 **29件 9,197万円(前年18件 3,018万円)**

- ・メーカー担当者との同行訪問による情報提供

肥料・農薬の新商品試験や重点項目資材の推進

▲各種キャンペーンの実施
(JAグリーンはだの)

Challenge 4

組織運営・経営管理改善に向けた取り組み

① J Aはだのオリジナルキャラクター「やえのちゃん」「ピーなマン」大活躍



▲ 神奈川県アンテナショップ「かながわ屋」でのPR

やえのちゃん音頭▶



「やえのちゃん」



◀ ピーなマン体操



「ピーなマン」



▲ 農業まつり



▲ ピーなマン焼き

② 支所を拠点とした組織活動の展開

支所運営委員会では、地域に根ざした協同活動の展開により地域の活性化に取り組んでいます。活動の紹介は [9ページ](#) に掲載しています。

③ 認定農業者との話し合い

- ・ 認定農業者との話し合いを開催 ▶
- ・ 組合長による認定農業者訪問
- ・ 支所長、支店長による認定農業者訪問



2018年度支所運営委員会活動報告

支所名	開催内容
大根	・組合員のつどいの開催（サツマイモと落花生の収穫体験）
	・大根ふれあいまつりへの参加（地元農産物の販売およびP R）
	・地産地消P Rイベントの開催
	・年末市の開催
本町	・本町支所新事務所オープン企画の実施
	・J Aはだの創立55周年企画「田んぼアート」
	・第27回本町地区福祉ふれあいまつりへの参加
	・組合員のつどいの開催（フラワーアレンジメント教室）
東	・組合員のつどいの開催（サツマイモの収穫体験、重さ比べ大会、女性委員による サツマイモ料理振る舞い）
	・東支所ふれあいまつりとして実朝まつりへの参加
	・企画旅行の実施（伊賀上野・高野山方面）
	・東地区の歴史勉強会の開催
南	・ゴルフ大会の開催
	・体験型農園の講習会への支援
	・落花生収穫体験への支援
	・第31回南地区ふれあいまつりへの参加
北	・組合員のつどいの開催（リンジー等の花苗を使ったアレンジメント講習会 ^あ)
	・農家訪問（農業学習会）の開催
	・北地区生産茶のP R（来店者ドリンクサービス）
	・第44回まきの木まつりへの参加
	・新東名・スマートICに関わる状況説明会の開催
	・北地区生産茶のP R(来店者ドリンクサービス)
西	・創立55周年記念資料「秦野市農協の主なあゆみ・北地区農業の歴史とこれから」を作成
	・四十八瀬川の源流を訪ねる集いを開催
	・西幼稚園バザーへの参加
	・西っ子バザーへの参加（西小学校）
	・西っ子まつりへの参加（西小学校）
上	・組合員のつどいの開催（野菜の収穫体験）
	・荒廃農地の解消を目的に「そば作り教室」を開催
	・食農教育活動（上幼稚園でジャガイモの植え付け指導）
	・食農教育活動（上幼稚園と上小学校にイチゴを寄贈*）
	・食農教育活動（上小学校で野菜苗の植え付け指導）
	・上支所ふれあいまつりの開催
	・グラウンドゴルフ大会の開催
上	・上小学校「ふれあい活動」への協力*
	・海外企画旅行の実施（台湾）
	・食農教育活動（上幼稚園と上小学校にミカン寄贈*）
	・食農教育活動（上幼稚園でタマネギ苗の植え付け指導）
	・上小学校「そば打ち教室」の開催
	・視察研修会



* ふれあいまつり等で「食農教育募金」を募り、集まった善意により実施

④「JAはだのみんなで地産地消運動」を継続実施
 第53回通常総会で特別決議された、一日一品以上の秦野産農畜産物を食べ、秦野産の花を家庭に飾ろうという運動で、秦野の農業を応援しています。



⑤JAカード5%割引実施店への登録
 じばさんずでJAカードを利用すると請求時の金額から5%割引になります。

期間は 2020年3月31日まで!

⑥農業応援定期貯金の取扱い

JA貯金が秦野の農業応援に直接貢献できる仕組みとして、農業所得の増大、農業生産の拡大に寄与することを目的に、2018年3月1日より「JAはだの農業応援定期貯金」を取扱っています。2019年2月末残高 **457件 5億3,300万円**



⑦創立55周年記念企画 オリジナルムービーを制作

JAや農業への理解促進を図るため、「次世代につなぐ秦野の農業」と題したオリジナルムービーを制作し、映画「じんじん〜其の二〜」上映会で上映しました。



公式Instagramを開設



次世代層へのアプローチを目的に公式Instagramを開設しています。「フォロー」や「いいね」をお願いします。



このネームタグをInstagramでスキャンすると、ja_hadanoをフォローできます。



秦野市農業協同組合
〒257-0015 神奈川県秦野市平沢477
TEL:0463-81-7711 FAX:0463-84-1856
URL:<http://ja-hadano.or.jp/>



JAはだの「第五次中期経営計画」

—2019年度～2021年度—

【計画の骨子】

本「計画」では、自己改革の基本目標として「持続可能な経営基盤の確立・強化」を新たに掲げ、各事業の効率性・実効性を高めるとともに目標達成に資する業務をより明確にすることで、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に取り組みます。

本「計画」は、現行の中期経営計画の「組織」「事業」「経営」の各分野を充実・強化させた「総合基本計画」を土台に、その中から今後3年間で集中的に取り組む事業を抽出し、「重点実践計画」として明確化しました。

なお、営農指導事業および販売・購買事業の一部については、第三次地域農業振興計画（2018～2022年度）と連動させて計画に盛り込むほか、各事業の単年度事業については年次別計画を併せて作成し、進捗状況を管理していきます。

1. 重点実践計画

「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」を実現するために、一農業者当たりの生産拡充や生産性の向上、高度な販売戦略による高付加価値化などに向けて、計画をより具体化してすすめていきます。また、組合員の「わがJA」意識を向上させ、協同組合運動の担い手としてJAの諸活動に能動的に参加・参画できる取り組みを強化することで、「地域の活性化」「組織基盤の強化」をはかり、地域においてJAがなくてはならない組織であることをめざします。こうした取り組みをより効果的・効率的に実行するため、最適な事業選択と抜本的な収支構造の改善を行い、「持続可能な経営基盤の確立・強化」をめざします。

① 計画的営農指導の強化

営農指導員の育成強化、農業経営支援体制の構築、担い手育成と新たな農業経営の検討

② 販売事業の高機能化

販売事業専任部門の設置による販売戦略の高度化、買取販売システムの構築・強化、「はだのじばさんず」の一層の充実

③ トータル生産コストの削減

コスト管理に基づいた営農指導、より安価な生産資材の供給

④ 組合員の「アクティブメンバーシップ」の確立

組合員の意思反映、支所支店を拠点とした組合員の結集力強化、地域とJAをつなぐ対外広報の強化

⑤ 事業構造の再構築

重点実践計画達成に向けた経営資源の計画的再配分、施設の整備・再編、経済事業の収支改善